

平成 28 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,817,142円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,841.95㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	21,277	16,812	19,097	16,389	18,378
	移動児童館利用者数	480	986	907	2,387	1,814
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	16	21	17	25	23
	開館日数(単位:日)	150	145	149	142	152

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、常勤職員(児童厚生員)2人、非常勤職員(児童厚生員)1人 ③おたより「わんぱくっこ」及び「幼児向け日程表」を担当小学校に配布、地域の保健センター及び公民館に掲示。ホームページ及びぶりあネットの活用。 ④利用者アンケート(幼児の保護者及び小中高生向け)の実施。また「ご意見箱」にて、要望を吸い上げ公表を行った。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電と節水を実施。光熱水費の省エネに努めた。工作材料に廃材を積極的に使用している。 ④破損した玩具についてはおもちゃ病院の協力を得て修繕した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 1. 平成28年7月5日・12日に子育て支援事業(幼児クラブ1歳児)に登録している母親にアンケート(無記名)を実施。 登録者数49人 回答者42人(回収率86%) 2. 平成28年7月7日・14日に子育て支援事業(幼児クラブ2歳児・3歳児)に登録している母親にアンケート(無記名)を実施。 登録者数 37人 回答者数32人(回収率86%)</p> <p>【児童・生徒用アンケート】 平成28年8月20日～25日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名・学年と性別は記入)を実施。 回答者 59人(1年 3人、2年 2人、3年 17人、4年 9人、5年 11人、6年 13人、中学生 4人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 ○幼児クラブはいかがでしたか？ (1歳児) ・毎回親子共々楽しめた。・感謝している。・子どもの成長を見ることが出来、うれしかった。 ・家ではできない経験ができた。・同年齢の子と触れ合えて、いい刺激になり楽しかった。 他 (2・3歳児) ・とても楽しかった。・感謝している。・子どもの成長を見ることが出来、うれしかった。 ・家ではできない季節の行事など、いろいろな経験ができた。 ・下の子を職員の方が見てくれたので、上の子と向き合い関わる事が出来て良かった。 他</p> <p>【児童・生徒用アンケート】 ○児童館に来る目的 ・遊ぶため 31人、・楽しいから 12人、・友達に会える 7人、・卓球をするため 3人 ・ひまつぶし3人、・お母さんが働いているから 2人 他 ○児童館で好きな遊び、行事 ・卓球 20人、・ドッジボール 20人、・カロム 13人、・お化け屋敷(行事) 4人、・マンカラ 3人 他 ○児童館でこれからやってみたい、やってほしい遊び・行事 ・特になし 49人、・今で充分 2人 (やってみたい) ・シューティングゲーム 2人、卓球 1人 (やってほしい) ・大縄大会、ベイブレード大会、バレーボール大会、紙粘土工作 各1人 ○児童館について何でも意見 (好きなどころ) ・おもちゃがいっぱいある 11人、・いろいろ遊べる 10人、・みんなと遊べる 9人、・楽しい遊びがいっぱいある 8人、・涼しい 7人 他 (嫌いなどころ) ・家から遠い 1人、・決まりを守らない子がいるので守ってほしい 1人</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・駐車場が少ないので雨の日は大変⇒駐車場の数には限りがありますので、申し訳ありません。 ・電池切れのおもちゃがある⇒毎日点検をしておりますが、電池切れや破損、故障などを発見した場合、職員にお知らせください。すぐに対応しますので、ご協力をお願いします。 ・9時半開館がいい⇒来年度より開館時間の変更を予定しています。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>○新企画として子育て中の母親の心身のリラクゼーションのために「リラクゼーションヨガ」を1回開催。すっきりしてまた育児や家事に頑張れると高評価。また、地域ボランティアの協力のもと母親に子供同伴で「産後ヨガ」を月1回開催。30分ということで気軽に参加でき好評、安定した参加者を確保できている。</p> <p>○今年度試行として中高生のボランティアによる「夏休み宿題ラストスパート」を企画。5人の参加者であったが、来年度に向けてさらに充実して継続していく。</p> <p>○夏休みの充実のため、放課後児童クラブと連携し、岐阜市後援の企画事業「キャンドルグラスアート」に参加。児童館で製作し、その後、映画会を開催。他施設の放課後児童クラブの児童も一緒に過ごせるように企画した。参加者親子50人、児童クラブ児童70人参加があつて好評であった。</p> <p>○地域の和太鼓保存会の協力のもと、こどもの日には親子で参加できる和太鼓体験を開催。また、子ども和太鼓講座は、継続開催。今年の受講者は、昨年受講した先輩(保存会に入会)たちと夏祭りで演奏を披露することができ、保存会にも入会することができたことにより、保存会継承に貢献することができた。</p> <p>○NPOの協力を得て小学生や幼児の親に人気のキッズフリーマーケットを開催した。買う立場だけでなく、自分の商品を持ち寄り、お互いやり取りで値段を決めたりして、とても貴重な経験となった。</p> <p>○じどうかんえんにち、なつまつりを開催し、普段児童館へは数多く来ない子ども達もたくさん来館することに結び付けることができた。また、地元大学生や、小学生ボランティアの協力も得ることができ、大変盛況であった。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○事業団内の児童館・児童センターの職員対象に研修会を開催している。</p> <p>他の児童館への実地研修や行事への参加を行ったり、遊びを持ち寄りたりしながら、お互いのスキル向上に努めている。また、岐阜県児童館連絡協議会の主催する研修会にも積極的に参加をしている。</p> <p>○高齢者福祉センター、放課後児童クラブが併設されているメリットを最大限活用し、世代間交流として、新規事業として地域のボランティアの協力により、「盆踊り」、「朗読会とギター弾き語り」、「落語会」また、継続事業として、「七夕飾り」、「お茶会」を実施した。高齢者と有意義なふれあいができた。</p> <p>○小中学生のアンケート調査を今回初めて実施して、利用者の意識を確認することができた。今後も継続して実施して児童館運営に役立てていきたい。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>児童館の原点である3つの目的を改めて確認し、充実を図りたい。また、高齢者福祉センター、放課後児童クラブが併設されているメリットを最大限活用し、世代間交流を推進を図るため、特に高齢福祉センターの利用者からの要望もあつて、子どもたちと一緒に楽しめるイベントを地域ボランティアと協働して企画していきたい。</p> <p>○遊び場の提供、遊びの紹介 オリンピック効果により卓球、バドミントン希望する子どもたちが増加。遊戯室の円滑・安全な運営を行っていく。</p> <p>○子育て支援 幼児クラブ中心にコミュニケーションを図り、安心の子育て支援を行う。</p> <p>○自主的ボランティア支援 後期より女子高生による小学生を対象にした手芸教室が月1回の予定で計画されている。今後も異年齢の関わりのある遊びや行事の取り組みを行うことにより、自主的ボランティア育成を推進していく。</p> <p>○地域との連携 柳津地域の特性として、行事を地域の各団体が関わって開催していく実行委員会形式的な催しが多く、児童館もメンバーとして要請される機会が多い。そういう機会をとらえ、地域の団体や人との関係をしっかり構築し良好な関係を保つことにより、児童館で行う行事に際しても協力関係が得られるよう推進していく。</p>

●所管課の意見

<p>毎月の「おたより」を担当小学校に配布、地域の保健センターや公民館に掲示を行うほか、児童館及び岐阜市社会福祉事業団のホームページで事業の紹介するなどの広報活動を行っている。</p> <p>高齢者福祉センターとの合築である特性を活かし、世代間交流として「盆踊り」、「朗読会とギター弾き語り」、「落語会」、「七夕飾り」、「お茶会」などを実施し、両施設の利用者の交流を図る行事を積極的に行つた。</p> <p>地域の和太鼓保存会の協力による子ども和太鼓講座を継続して行い、地元夏祭りでは演奏を披露し、また、こどもの日には親子で参加できる和太鼓体験を開催するなど、地元団体の活用や地元活動への積極的参加を行つた。講座や体験がきっかけで保存会に入会を行つた利用者もあり、保存会の継承に役立てたことから、児童館の活動が地元で大いに貢献したと言える。</p> <p>大学生や小学生ボランティアが児童館の事業に積極的に協力を行っており、児童館の縁日や夏祭りなどイベントで活躍を行っている。</p> <p>地域ボランティアによる「産後ヨガ」を月1回開催、また子育て中の母親向けの「リラクゼーションヨガ」やボランティアの中高生が小学生の宿題をサポートする「夏休み宿題ラストスパート」を試行的に開催するなど新規事業にも取り組んでおり、今後の展開を期待したい。</p> <p>職員体制や運営状況については問題なく行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・地元祭り等への参加や和太鼓保存会への協力、地元小学生や大学生ボランティア育成など、地域への貢献度が非常に高く、評価したい。 ・施設内での飲食については各施設の利用者アンケートなどにより要望も多い為、安全面、衛生面に配慮し、可能な限り取り組んで頂きたい。 ・利用者アンケートについて、「満足」・「不満」・「やや不満」などの選択肢があるが、ごく少数ではあるが「不満」・「やや不満」などの意見は業務の改善や利用促進の貴重な意見であるため、「不満」・「やや不満」の意見の場合、「なぜ不満なのか」、「どうなるとよいのか」を聞き取れるようなアンケートの仕組みにしていきたい。 ・管理運営は適正に行われており、良好と認められる。
